公益財団法人 東京観光財団

令和５年 12 月 21 日
公益財団法人東京観光財団
５公東観総総第 2036 号

GSTC サステナブルツーリズム研修プログラムを実施しました

「世界から選ばれ続ける東京」であるために、公益財団法人東京観光財団（以下「TCVB」という）では、持続可能な観光・ビジネスイベンツ開催都市を目指した取り組みを進めています。

この度、令和５年度より発足した TCVB Sustainable Tourism Partnership にご参加の賛助会員の皆様を対象とした、GSTC サステナブルツーリズム研修を実施しました。GSTC による実施報告と併せて以下の通りご報告いたします。

【研修概要】
研修名：GSTC サステナブルツーリズム研修プログラム
期間：令和５年 10 月 16 日（月）～18 日（水）全３日間
対象：TCVB Sustainable Tourism Partnership にご参加の企業・団体の皆様約 20 名
共催：GSTC、公益財団法人東京観光財団
講師：GSTC公認トレーナー　二神 真美 氏 （名城大学 名誉教授・シニアフェロー）

【GSTCによる実施報告】（英文のみ）
The GSTC Sustainable Tourism Training sponsored by the Tokyo Convention & Visitors Bureau concluded successfully | GSTC (gstcouncil.org)
【GSTCサステナブルツーリズム研修とは】
GSTCサステナブルツーリズム研修プログラム（STTP） | GSTC (gstcouncil.org)

本研修は、旅行・観光のサステナビリティにおける国際基準を策定する国際非営利組織 Global Sustainable Tourism Counsil（略して GSTC）によって提供されます。GSTC 基準は、大きく分けて「マネジメント」「社会経済」「文化」「環境」の４種類について、ホテル・旅行会社を対象とした産業用、自治体や DMO 等を対象とした地域用に、取り組むべき項目を示しています。

研修は、GSTC が策定する産業向け基準、観光地域向け基準の２種類に関する座学と、それをもとにしたフィールドワークで構成されます。３日間の研修を終えると、GSTC から公式の修了証書が交付されます。

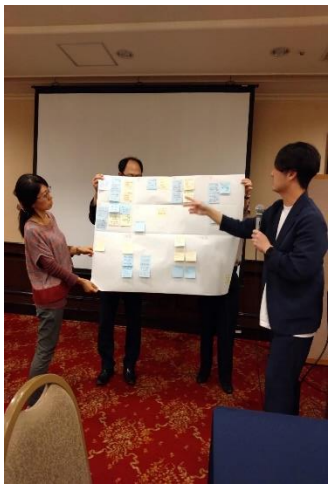
１・２日目の座学に続き、３日目のフィールドワークでは、台東区観光課の皆様のご協力のもと、浅草エリアを訪れました。浅草神社様には、神社の成り立ちと地域との繋がり、国の重要文化財である本殿等を保護・維持しながら文化を伝承されていくお取り組みについてお話しいただきました。次に訪問

した KURAMAE モデル様では、カフェから出るコーヒーかす等を原材料としてアップサイクルするプロジェクトで、福祉作業所等を含む、蔵前地区や近隣の企業や学校、商店街と連携した地域循環型のお取り組みについて学びました。

浅草神社　https://www.asakusajinja.jp/　　KURAMAE モデル　https://kuramae-model.org/

参加者の皆様からは、以下のようなご感想が寄せられました。

- 「サステナビリティに関してはすでに様々取り組んでいるが、何をどこまでやれば良いのか分からなかった。持続可能な観光の国際基準を学び、体系的に理解出来た。研修後、自社で出来ていること、今後出来ることを引き続き検討していきたい。」
- 「講義だけでなく、台東区の講義のあと、フィールドワークで実際に浅草を訪れ、地域の特色や人々の思いを学んだ。（勤務する）ホテルのある地域での取組にも活かしていきたい。」
- 「参加者同士が意見を出し合いながら学び合うことが出来たことが非常に良かった。」

今後も TCVB では、持続可能な観光に関わる観光関連事業者・団体の皆様同士の連携や、学びの場を創出して参ります。

（担当）総務部総務課（企画調査）山村・工藤 sanjyokaiin@tcvb.or.jp ／03-5579-2680